



減らないがん死亡者

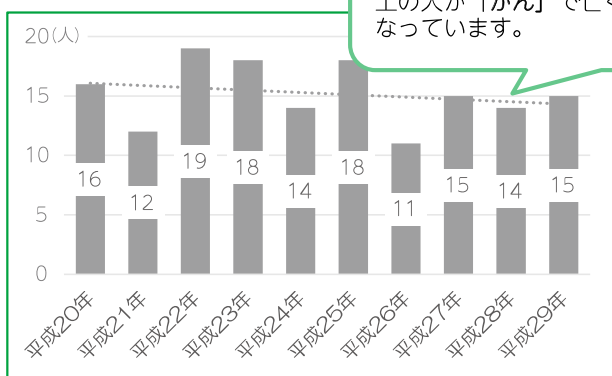
本村でのがん死亡者数は、図1より年間約15人(10年間平均)、表1より過去5年間(平成25～29年)で75人に上ったことが分かります。

がんの部位別に見ると、「肺がん」、「胃がん」、「大腸がん」の順に多くなっています(表1)。とくに「肺がん」で死亡する人は、がん全体の1/4を占めます。

他の死亡原因と比べても、がんが最も多く、死亡全体の1/4を占めます(表2)。

医学が進歩する中、がん死亡者が減らない理由は、早期発見につながっていないことが考えられます。

図1 がんの死亡者数の推移



資料：津島保健所事業概要

表1 がん部位別死亡数

平成 25～29年 5年間	死亡者数	率(%)
胃がん	11	14.7
肺がん	17	22.7
大腸がん	7	9.3
子宮がん	1	1.3
乳がん	2	2.7
その他のがん	37	49.3
総数	75	

資料：愛知県衛生年報

表2 三大死因別死亡割合
(平成 25～29年 5年間)

	悪性新生物 (がん)	心疾患	脳血管疾患
飛鳥村	22.3%	13.8%	8.9%
平成 29年 愛知県	28.6%	13.0%	7.3%

資料：津島保健所事業概要

死亡原因では、がんで亡くなる人が最も多く、全体の1/4を占めます。また、その中でも「肺がん」が最も多くなっています。

がんにならない、がんで死なないためには...

①正しい生活習慣を心がける。

タバコ、多量飲酒、肥満、運動不足、野菜・果物摂取不足、塩分の過剰摂取は、がんの危険を高める要因です。とくに、**タバコは肺がんの危険要因**です。



これが最も
重要です。

②1年に1回は、がん検診を受診する。検診結果で精密検査だった場合は、必ず精密検査を受け、がんでないかを確認する。**進行がんになる前の早期発見・治療**によって、予後が大きく変わります。

今年度のがん検診については、4月に送付する令和2年度「健康診査のお知らせ」をご覧ください。

●問合せ先 すこやかセンター内保健環境課